

HAMA阻害剤

THBR1-AS
THBR2

マウスに対する異好性抗体（HAMA：Human Anti Mouse Antibody）は健常人の数%に存在すると言われ、イムノアッセイにおける偽陽性を生む原因の一つとされています。

イムノアッセイにはHAMAによる干渉を避けるため、測定系中にあらかじめHAMA阻害剤を加える事が一般的に行われています。

また、臨床現場においてHAMAによる偽陽性が疑われる例では、HAMA阻害剤を添加することによって偽陽性の鑑別が可能になる場合があります。

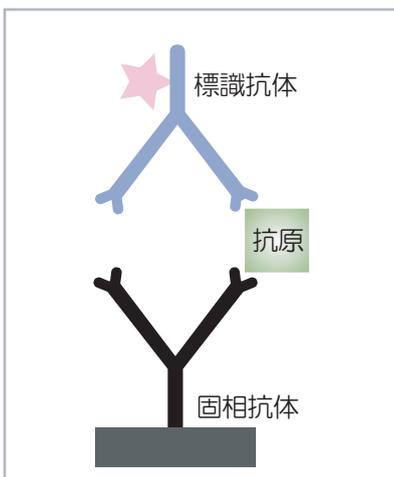
本試薬はイムノアッセイにおけるHAMAによる干渉を阻害するための試薬です。

HAMA阻害原理

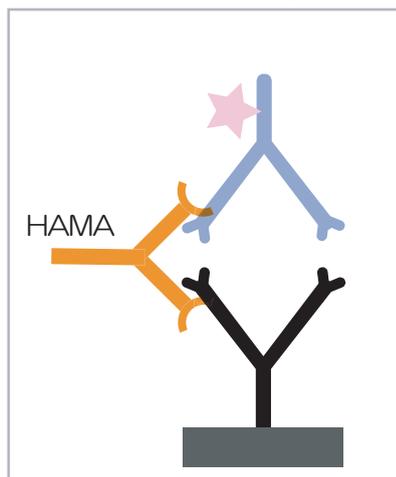
マウス抗体を用いたサンドイッチイムノアッセイ（Ⅰ）において、検体中にHAMAが存在すると固相抗体と標識抗体の架橋反応（非特異反応）が起こり、偽陽性を示す場合（Ⅱ）があります。

この時、HAMA阻害剤を加えることにより、HAMAをブロックして非特異反応を抑える（Ⅲ）ことができます。

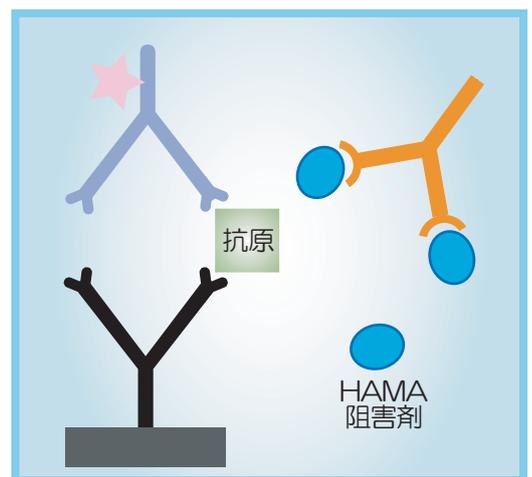
Ⅰ：通常の抗原抗体反応例



Ⅱ：非特異反応例



Ⅲ：HAMA阻害剤の反応例



THBR1-AS/THBR2の効果は測定系や非特異検体等により様々です。

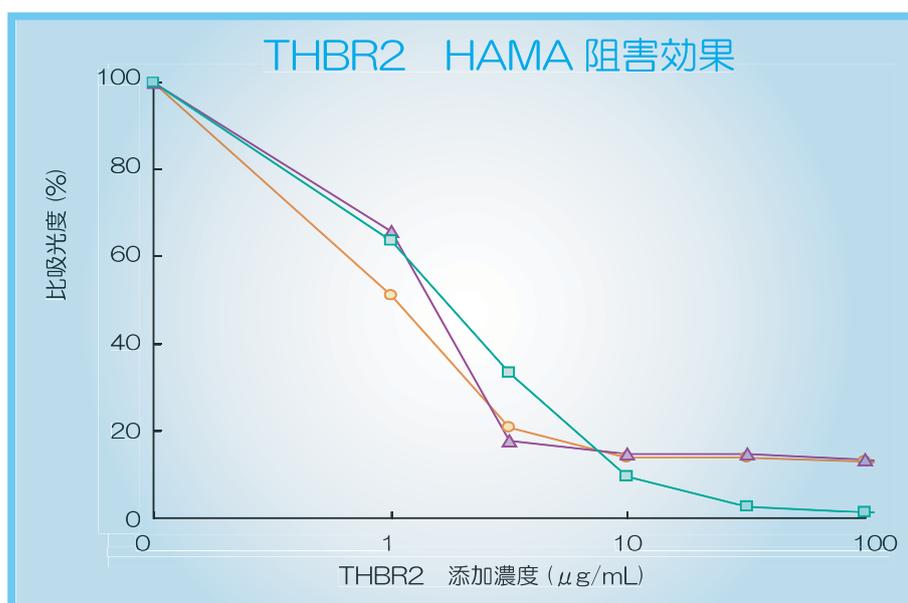
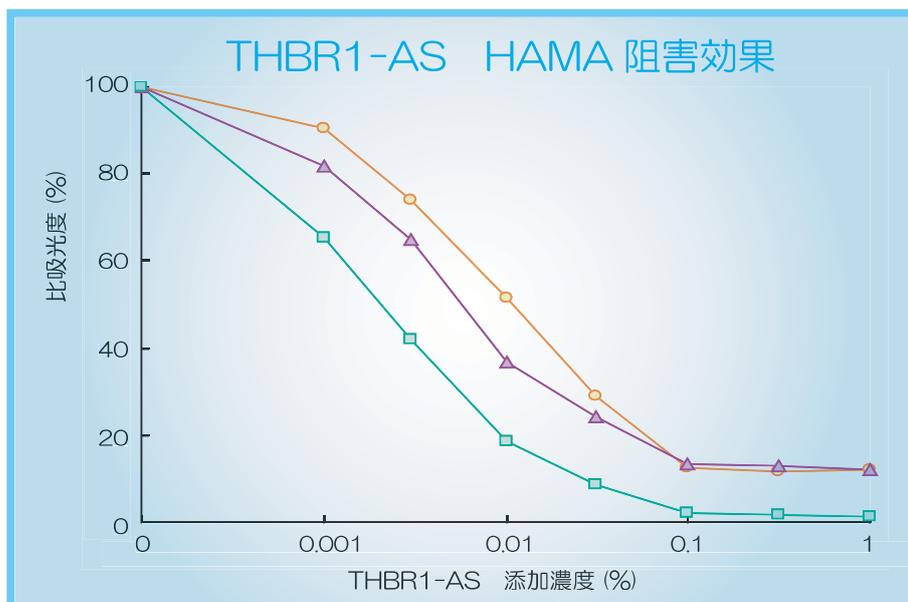
製品への使用にあたっては、それぞれの測定系でTHBR1-AS/THBR2の添加濃度を検討することをお勧めします。

THBR1-ASは凝集法への応用も可能です。



使用例

固相抗体・標識抗体にマウス IgG1 抗体を使用した 2 ステップサンドイッチ ELISA において検体希釈液・標識抗体希釈液に THBR1-AS/THBR2 を添加



○ HAMA 検体 A
△ HAMA 検体 B
□ HAMA 検体 C

本使用例においては

THBR1-AS 0.1 ~ 1%
THBR2 10 ~ 100 μg/mL

の添加で HAMA による非特異反応をほぼ完全に抑制することができました。

製品情報

製品コード	製品名	Ig クラス	性状	包装	貯法
2ATHBR1	THBR1-AS	IgG1	マウス腹水原液	1mL	-20℃
2ATHBR2	THBR2	IgM	精製マウス腹水	10mg/mL 1mL	-20℃

製造販売元



株式会社 特殊免疫研究所

抗体・診断薬営業推進部

TEL : 03-3814-4081

E-mail : info@tokumen.co.jp

Webサイト : https://www.tokumen.co.jp

funakoshi フナコシ株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番7号

www.funakoshi.co.jp

info@funakoshi.co.jp

試薬 : reagent@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1620

機器 : kiki@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1619

受託 : jutaku@funakoshi.co.jp TEL 03-5684-1645

販売代理店